



恋は舞い降りた

Sakufu Ajimine
あじみね朔生



恋は舞い降りた

あじみね朔生

CONTENTS

恋は舞い降りた	5
【Guilty XX Vol.8 ('07年5月) 掲載】	
恋は舞い降りた after	37
【描き下ろし】	
東方華伝 一話	39
【小説ショコラ '07年3月号掲載】	
東方華伝 二話	71
【小説ショコラ '08年1月号掲載】	
東方華伝 after	103
【描き下ろし】	
恋のはなし	109
【COMIC Guilty Vol.8 ('03年7月) 掲載】	
恋のはなし after	141
【描き下ろし】	
楽園の瑕	143
【Guilty XX Vol.6 ('06年11月) 掲載】	
楽園の瑕 before	175
【描き下ろし】	
あとがき	177

私が五つの時
黒氏当主である
父が身能り

白州の地では
待望の嫡子が
誕生していた

そうして彼は
生まれながらに
私の許婚となつた

ガタン

何者です？

お初に
お目にかかる

はくしあるじ
白氏の当主
れいおん
玲音と申します

我が許婚どの

玲音…!?

恋は舞降った



蓬国を
四方から守護する
皇家四門の四氏は



互いに反目せず
堅固な盾となるため
周期的に婚姻関係を
結んでいた

しかしあくまでも
周期的な縁組みを
重視したため

両家に女子が
生まれなかった場合
まれに男子同士での成婚
という事態も生じた

そのため
皇家四門には
暗黙の決まり事があり

輿入れする側の末子は
その家に女子が
生まれるまで
女の格好をして
育てられた

私のせいだ...



初見は明日の
はずでは？

むっ

そんなに俺と
顔を合わせたく
ないのか？

そういう訳では…

いきなり
現れられても…

フッ

男同士の結婚など
気に食わないのは
お互い様だ

せいぜい
制約の中での自由を
楽しむ事だな

なっ…!!



バレるのは
面倒だな

あ…

かえん
火苑様
どうかささい
ましたか？



なんて奔放な…!!



では明日
婚儀の席で
会おう

おやすみ
火苑…



……

やはりその様に
思われていたのか……

男同士の結婚など
気に食わないのは
お互い様だ



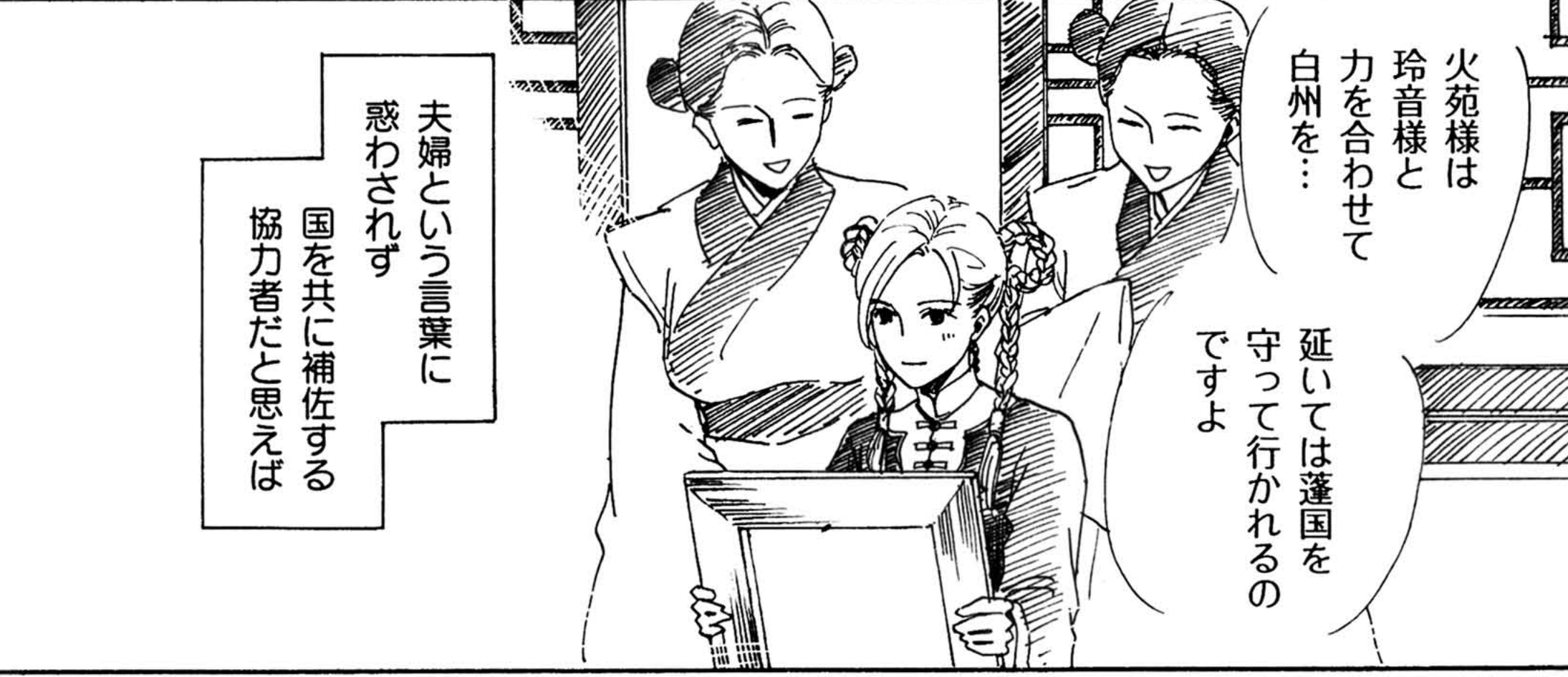
火苑様？

何でも
ありません……



下に弟妹のいない私には
弟が出来たようで
たいそう嬉しかった事を
覚えている……

婚約してから
誕生日には
贈り物と共に
玲音の肖像画が
送られて来るように
なった



火苑様は
玲音様と
力を合わせて
白州を……

延いては蓬国を
守って行かれるの
ですよ

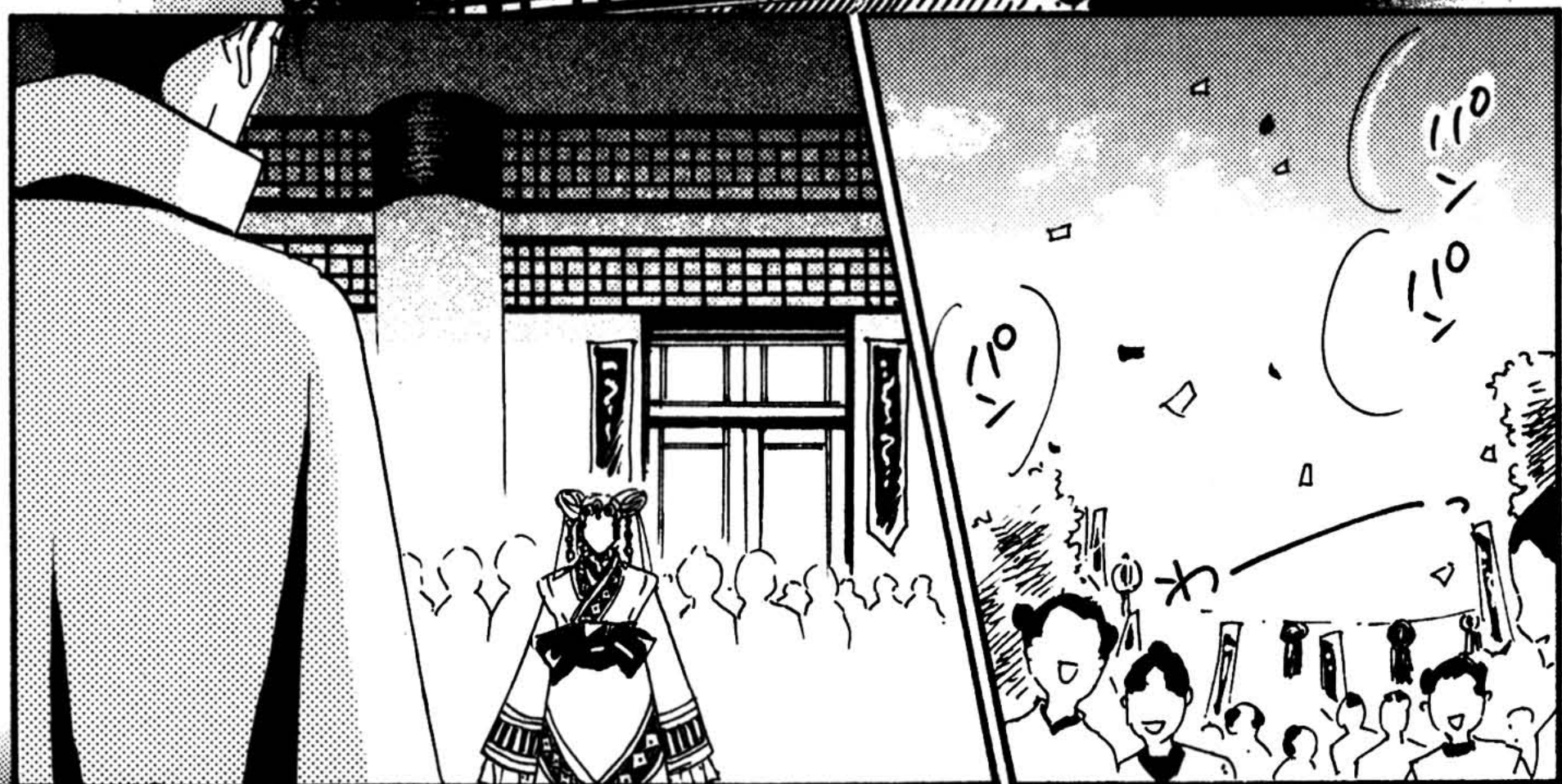
夫婦という言葉に
惑わされず

国を共に補佐する
協力者だと思えば

結婚相手が
男だという事も
とごかしら心強く
思えもした

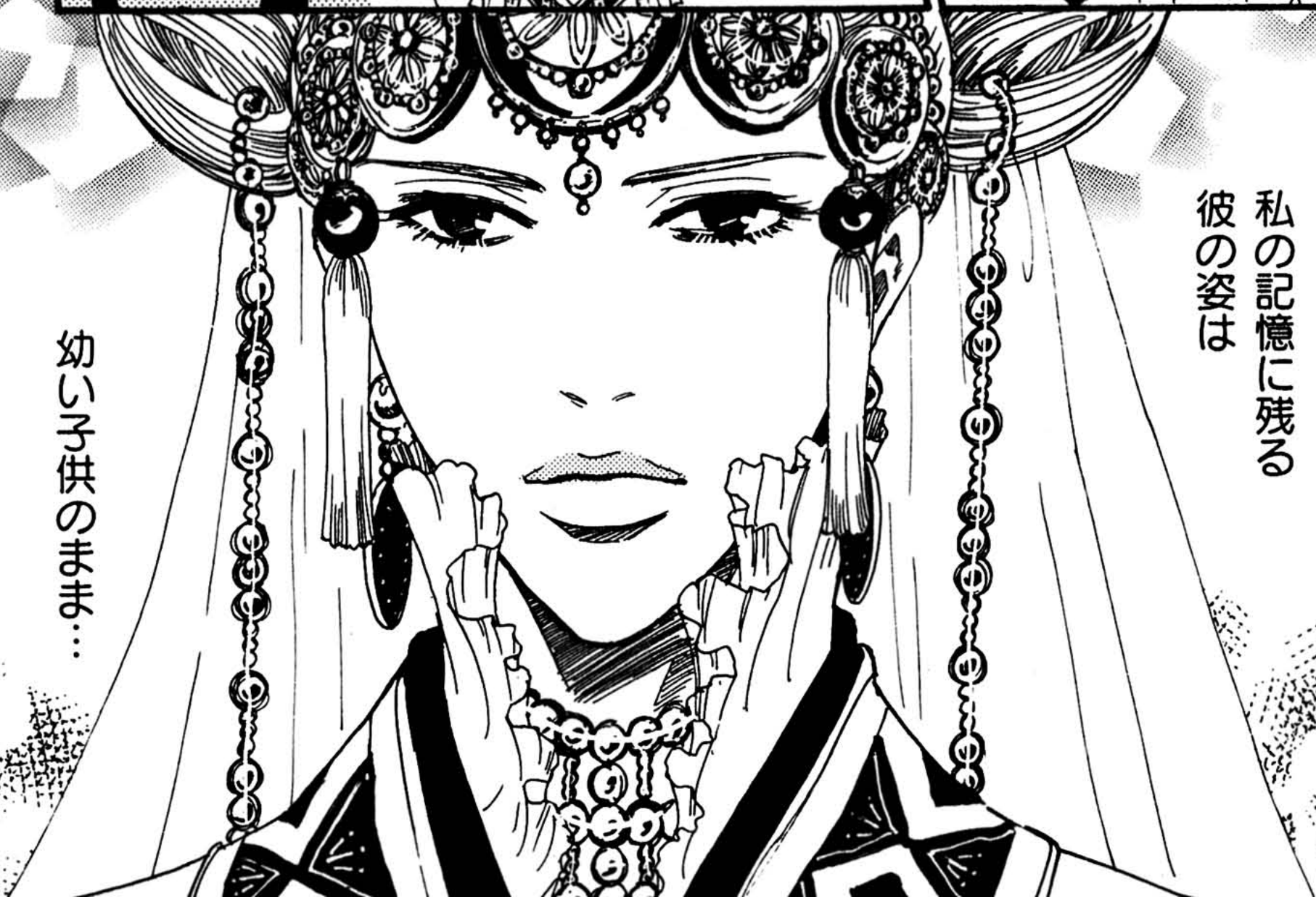
でもいつからか
贈り物の中から
彼の肖像画は
消えていて...

〽〽〽



私の記憶に残る
彼の姿は

幼い子供のま...



なのこ……

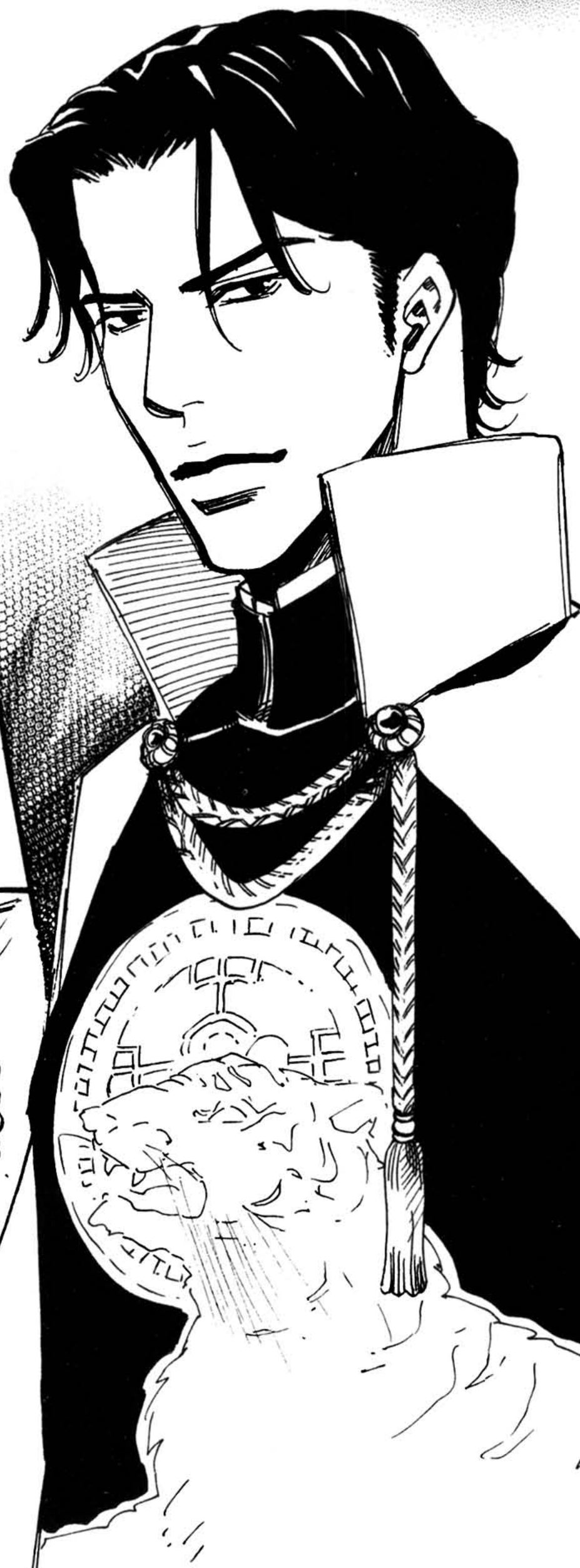
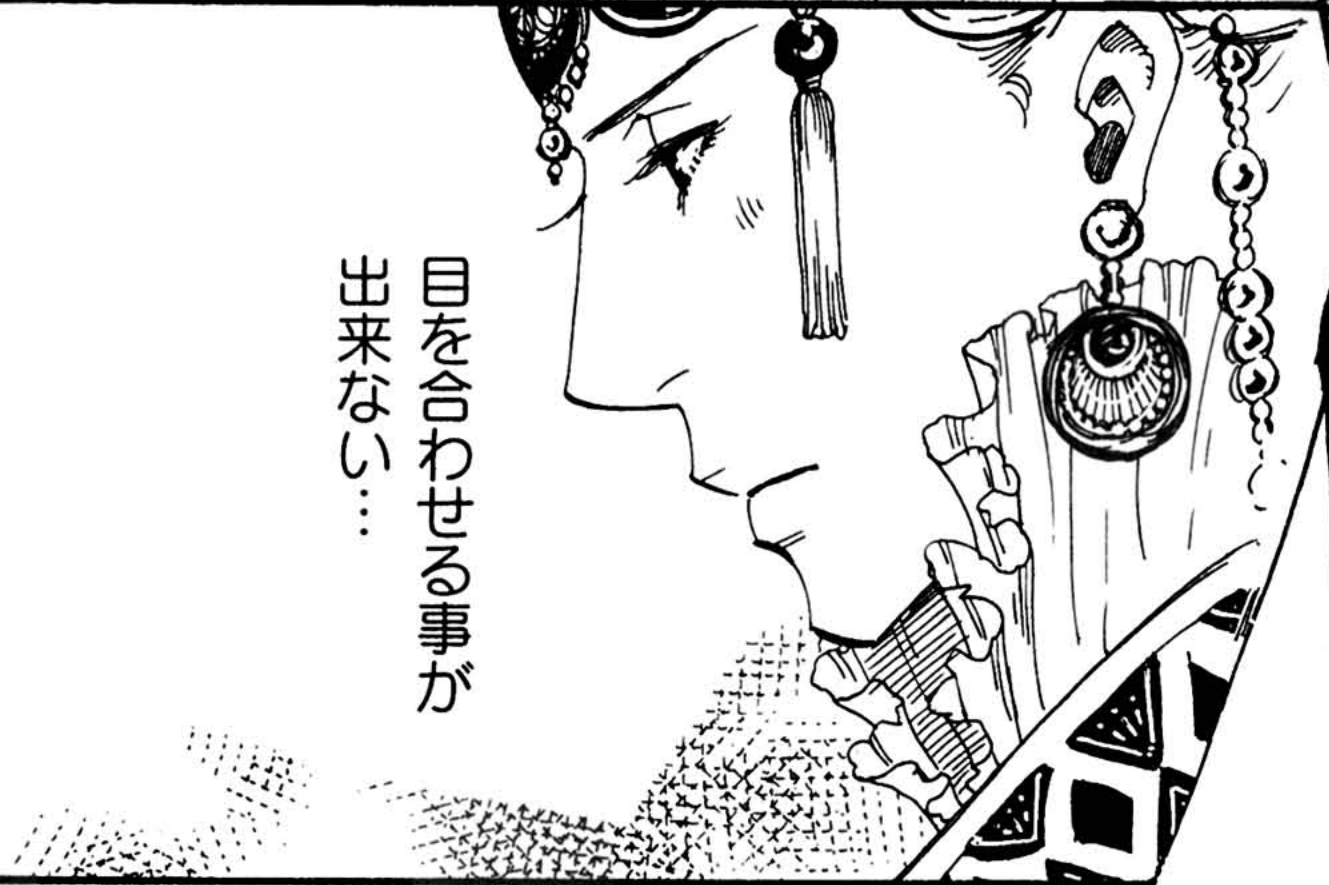


いきなり目の前に
現れたのは

十八になり
大人びて
自信に満ちた
男だった……



目を合わせる事が
出来ない……



東方華伝

とうほうかてん

一話

蓬国の東には
青州があり

青州を治める
青氏の屋敷の奥には
深い深い森があった

そこは何人も
足を踏み入れては
ならない聖域で――

わあ〜
♡



すごい
すごい
すごい!!

キラッ

これだけ
いっぱいあつたら

少しくらい摘んでも
判らないよね?

あ!

あそこにも
綺麗な花♡



いたっ

なに〜?



わっ!!

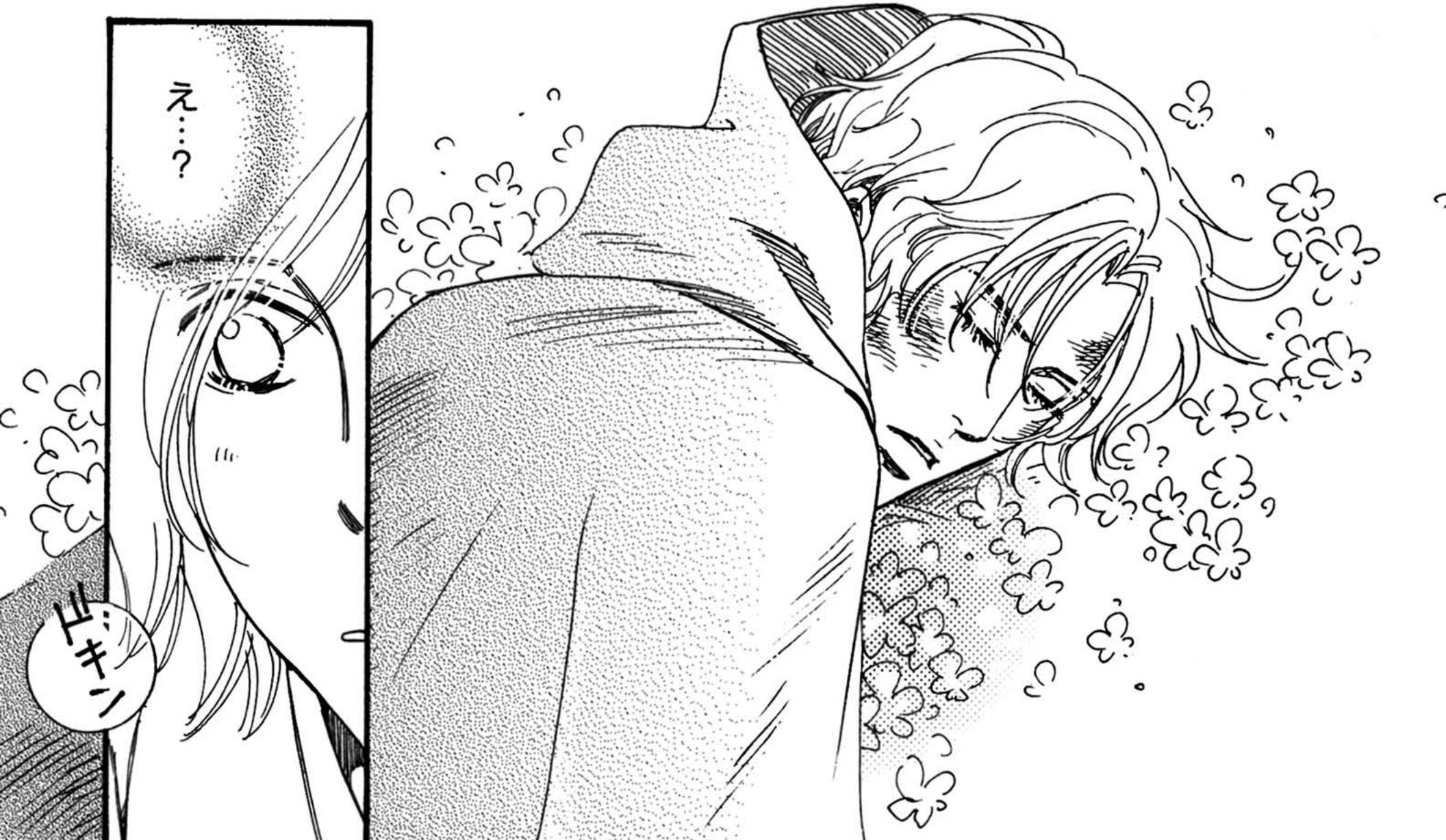
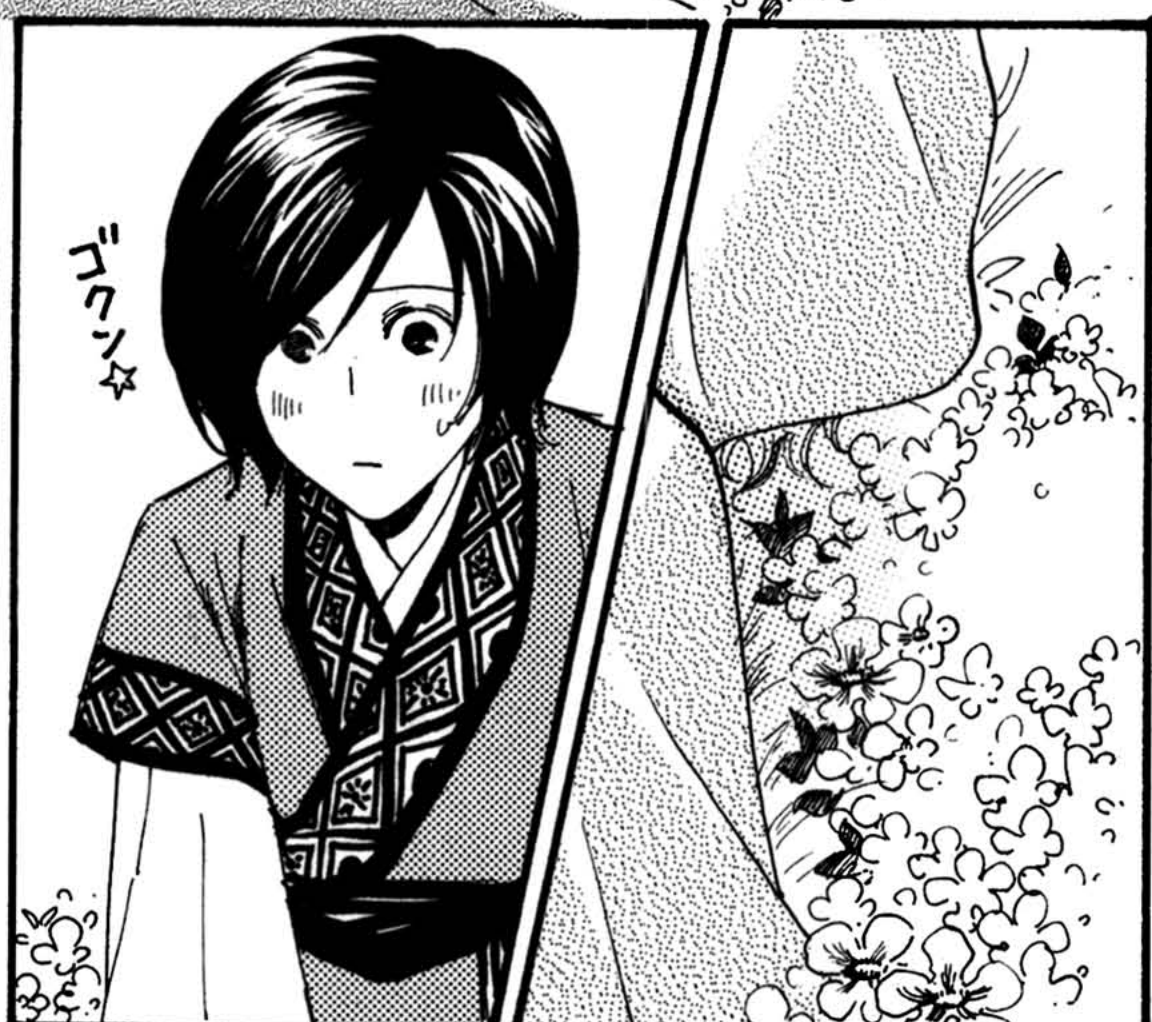
ずべっ
☆



おじい様も
喜こんでくれそ…っ



!?



きり...

きれい〜♡

なんか
あちこち
ケガしてるみたい
なんだけど...

館に戻って
人を呼んだ方が
いいのかなあ？

でも禁域に
入った事が
ばれちゃうし...

うーん...

見た事もないような
白金色の髪...

とりあえず
傷口を清めなきゃ！

あー！

確かあつちに
泉が見えたような...

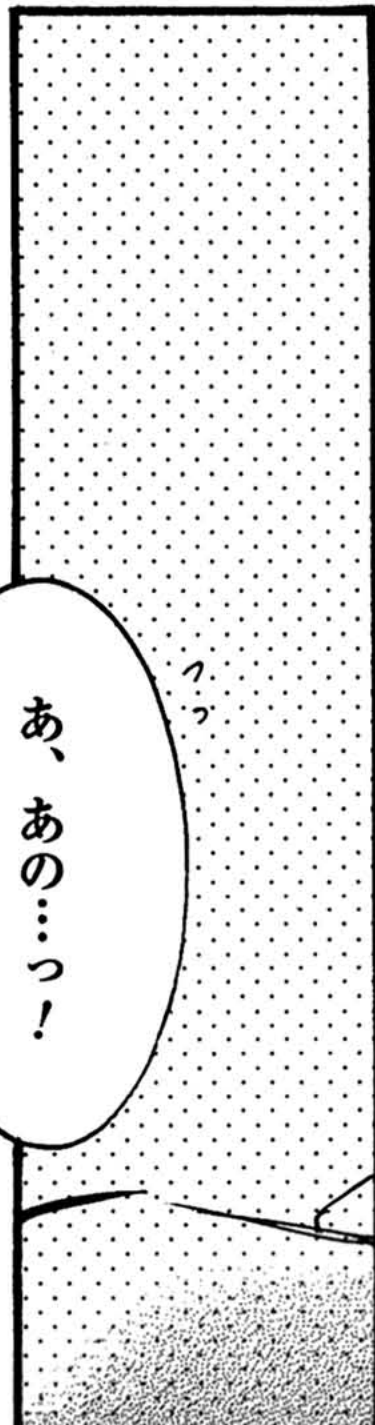
はたはた...



あ…



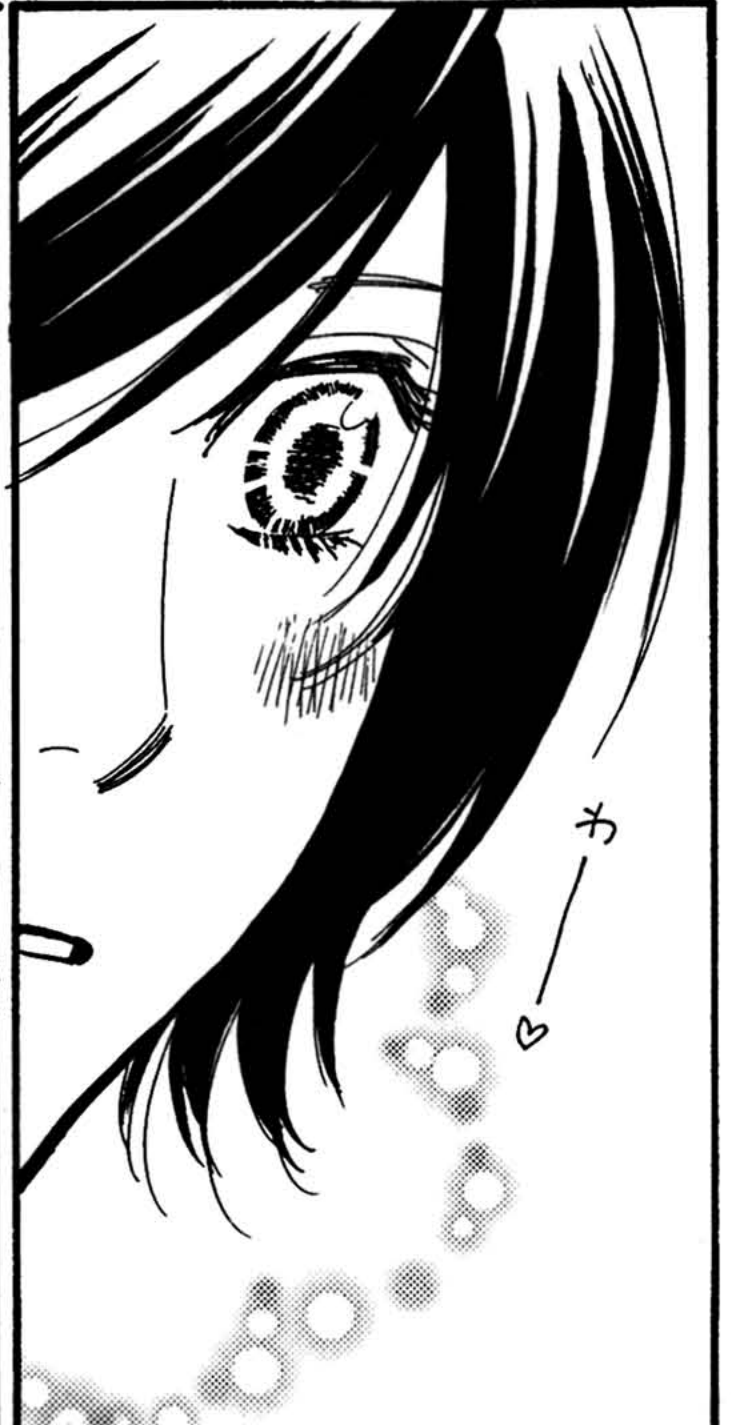
…っ!



あ、あの…っ!



…瞳色の…瞳…?



わ



だ…大丈夫
ですか？

あの…？

…



…何者だ…
お前は？

あ

僕は…

どき
どき

妙な色の髪を
している…

そ…
そうかな…

どうして…
思っている…

見かけない
顔だな…



あなたと
比べられたら
言い返せないけど...

これでも
おじい様や皆は
可愛いって言って
くれるんだけどな...



顔も平面で
ちんくくしゃだ...

ガーン

みんが...
...ニヒク...



助けてもらった事は
礼を言う

無理に起きたら
傷に障りますよ

...って
あれ?

あ



そ、そんなもん
なんですか?

ぼーぜん

おにいさま...



傷が...!

あれしきの傷
一時あれば治る

やはり結界から
外へ出るのは
難しいようだな

無理矢理
通ろうとして
弾き飛ばされて
しまった…

結界？

外界に興味を
持つ事は
禁じられているが

禁を敷けば
超えたくなるのが
情というものだ

そうは
思わないか？

言ってる意味が
良く判らないん
だけと…

外界というのは
お屋敷の外の事？

何を言っ…

もしかしてお前
門の外から
来たのか!?

*この続きは製品版でお楽しみください。

本作の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体などにはいっさい関係がありません。

書名 恋は舞い降りた (サンプル)

著者 あじみね朔生

発行所 株式会社 心交社

住所 〒171-0021

東京都豊島区西池袋3-25-11 CIC IKEBUKURO BUIL 5階

発行日 2014年10月15日

© Sakufu Ajimine

※本書の無断複写・複製・転載を禁じます。